

農作物の生育状況（8月1日現在）

中南地域県民局地域農林水産部

1. 水 稲

- ・出穂は平年より早まっており、出穂始めは7月31日で、平年に比べて3日早かった。

2. 畑 作 … 大 豆

- ・開花期は早いところが7月27日頃で、8月1日にはほとんどのほ場で開花期に達している。

3. りんご等果樹

(1) りんご

- ・8月1日の果実肥大は、弘前市独狐でつがるが平年比105%、ふじが平年比103%と、王林以外は平年を上回っている。
- ・見直し摘果、草刈、徒長枝の剪去、支柱入れ等の作業が行われている。

(2) もも

- ・8月1日の果実肥大は、平川市新館で「川中島白桃」が平年比106%と上回っている。
- ・一部園地でせん孔細菌病の発生がみられる。

(3) ぶどう（スチューベン）

- ・落花日は平年より7日早く、生育は良好である。

4. 野 菜

(1) トマト

- ・気温が平年より低く経過したため、7月末までの収穫量は平年よりやや少なめとなっている。

(2) 高冷地野菜

- ・にんじん、だいこんは、平年より3日程度生育が遅れていたが、肥大、生育は概ね順調で、7月中旬から収穫が始まっている。
- ・スイートコーンの生育は順調で、8月3日頃から収穫が始まる見込みである。

5. 花 き

(1) トルコギキョウ

- ・8月出荷の作型は、8月上旬から収穫が始まる見込みである。

(2) 輪ギク

- ・8月出荷の電照栽培は収穫期を迎えている。



7月27日 平川市新館 木村俊雄氏のもも園地での視察風景